



トイレ・洗口室入り口まわり

東京歯科大学 千葉歯科医療センター

最先端の設備を配置し、高度な歯科医療を提供する、地域密着型の医療機関

開設以来40年の間、地域医療に貢献してきた日本最大級の歯科医療センターが建て替えにより全面リニューアル。待合室の意匠と同様に、トイレにも優しい雰囲気を出す木目調をプラス。また、トイレ外でも手洗いや歯磨きが可能な洗口室を設け、衛生面や快適性に配慮している。



外観全景

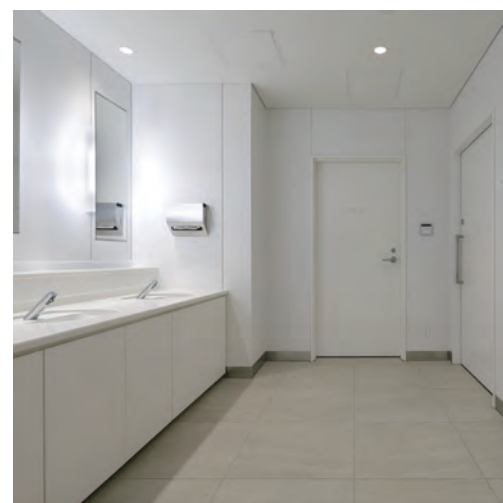
DATA

施主：学校法人東京歯科大学
 設計：(基本設計・プロジェクトアーキテクト) 株式会社日本設計
 (実施設計・監理) 清水建設株式会社一級建築士事務所
 施工：清水建設株式会社
 所在地：千葉県千葉市美浜区真砂1-2
 竣工：2020年12月

商品情報

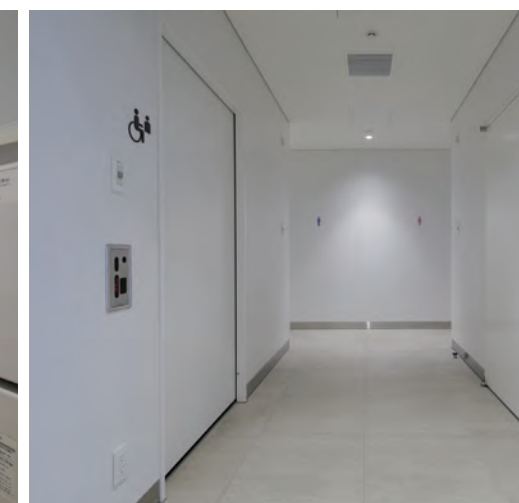
<一般トイレ>
 クイック式壁掛大便器 : C-P111PMA
 シャワートイレ : CW-PA11M/FLQE-NECK
 小便器 : U-A51AP
 洗面器 : L-2094
 自動水栓 : AM-200TCV1
 <多機能トイレ>
 多機能トイレバック : PTWC-BC185R1WWW
 シャワートイレ : CW-PC12Q1-NECK-UR2-TU
 <洗口室>
 洗面器 : L-2094
 自動水栓 : AM-200TCV1

洗口室、ベビールーム



トイレの向かいには、診察前後の歯磨きやうがいその他、手洗いだけの利用にも便利な洗口室を設置。奥にはおむつ交換ができるベビールームを完備し、様々な来院者に配慮している。

トイレ入り口まわり



通路幅にゆとりを持たせた入り口には、シンプルなデザインのトイレサインを表示している。

多機能トイレ



オストメイトに配慮した流しを備えた多機能トイレ。ライニングとバックガード、水栓金具と水石けん入れと紙巻器の高さが水平に揃い、すっきりとした印象。

女性用トイレ



床の白と壁の濃いグレーのコントラストが効いた室内。洗面エリアや大便器ブース内には緊急呼び出しボタンを設置し、万が一の事態にも備えている。

男性用トイレ



鏡裏照明の柔らかい光が空間を演出する洗面エリア。洗面カウンターには1段高くなったドライエリアを設け、濡れる心配をせずに一時的な小物置きとして利用することができる。小便器や大便器は壁掛タイプを設置し、小便器下には尿垂れを考慮した汚垂石を備えることで、便器下の清掃性を高めている。